



株式会社クラレ

2025 年度第 1 四半期決算説明会

説明者

常務執行役員 経営企画室担当 藤原 純一

2025 年 5 月 14 日

[億円]

	2025年度1Q	2024年度1Q	増減
売上高	1,948	1,922	26
営業利益	187	288	△101
経常利益	178	279	△100
親会社株主に帰属する 四半期純利益	120	216	△96
	参考		
円／ドル（平均）	153	149	
円／ユーロ（平均）	161	161	
国産ナフサ 千円／kl	73	73	

藤原：皆さんこんにちは。藤原でございます。本日はお忙しいところ、当社のカンファレンスコールにご参加いただき、ありがとうございます。それでは、2025 年度第 1 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

25 年度第 1 四半期における世界経済は、地域ごとにばらつきが見られましたが、先行きの不透明感が一層増しました。日本は底堅い内需に支えられ、堅調に推移しました。一方、米国は個人消費に陰りが見られ、貿易政策の転換などにより減速しました。また、欧州では紛争長期化や一部地域の低迷を背景に、景気回復のペースが鈍化しました。中国では政府の景気刺激策により景気減速に歯止めがかかる兆しが見られたものの、不動産市場の低迷が継続しました。

そのような環境の中で当社の 25 年第 1 四半期実績は、スライドで示しておりますように、売上高は、前年同期比 26 億円増の 1,948 億円、営業利益は、101 億円減の 187 億円、当期純利益は、96 億円減の 120 億円となりました。

前年同期比で減益ではあるものの、概ね 2 月に公表した業績予想通りに推移しました。為替及び原料の実績は、資料に示してある通りです。

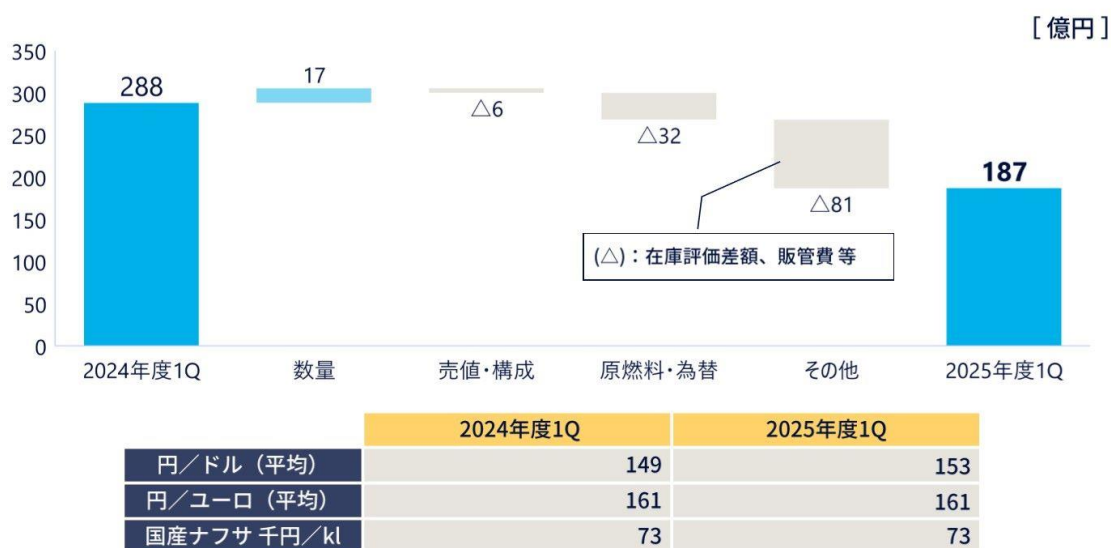
セグメント別 売上高・営業利益

kuraray

[億円]

	2025年度1Q		2024年度1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,004	159	990	248	14	△89
イソプレン	197	28	172	0	25	28
機能材料	476	20	487	32	△11	△12
繊維	134	△6	138	△2	△4	△4
トレーディング	167	14	153	13	13	0
その他	111	1	117	4	△6	△3
調整額	△141	△30	△136	△8	△5	△22
合計	1,948	187	1,922	288	26	△101

このスライドは、各セグメントの売上高及び営業利益の実績を、前年同期との比較で示しています。イソプレン及びトレーディングセグメント以外は減益となりました。



このスライドでは、営業利益の増減要因の全社まとめを示しております。

「数量」は、底堅い需要に支えられ、17 億円の増益要因となっています。一方で、「原燃料・為替」は、原燃料価格の上昇などにより 32 億円の減益要因となりました。「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響や経費の増加などにより、81 億円の減益要因となりました。

ビニルアセテートセグメントの概要

kuraray

	2024年度1Q	2025年度1Q	増減
売上高	990	1,004	14
営業利益	248	159	△89



ポバール樹脂	販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡し、減少。また在庫評価差額や原燃料価格上昇によりマイナス影響。
光学用ポバールフィルム	中国の家電買替支援策などを背景に販売は堅調に推移したものの、在庫評価差額によりマイナス影響。
高機能中間膜	〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移したが、PVBフィルムはアジアを中心に競争環境の厳しさが増し、建築、自動車用途ともに販売数量が減少。
水溶性ポバールフィルム	個包装洗剤の需要が回復しつつあり、販売数量が増加。
〈エバール〉	欧米を中心に食品包装用途が順調に推移し、自動車用途も堅調だったことから販売数量が増加したが、原燃料価格の上昇等が影響。
主な増減要因	〈エバール〉などの販売数量が増加した一方、原燃料価格の上昇や在庫評価差額のマイナス影響を受け、セグメント全体では減益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

5

ここからはセグメント別に事業の状況を説明いたします。

最初はビニルアセテートセグメントです。当セグメントは、前年対比で増収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

営業利益は、前年同期比で 89 億円減少しました。「数量」は、〈エバール〉などの販売数量が増加した影響により、16 億円の増益要因となりました。「原燃料・為替」は、原燃料価格上昇の影響などにより、35 億円の減益要因となりました。「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響などにより、61 億円の減益要因となりました。

原燃料価格の上昇や在庫評価差額のマイナス影響を受け、セグメント全体の営業利益は 89 億円の減益となったものの、ポバール樹脂や水溶性ポバールフィルムなど一部の事業は、年初に公表した予想に対して若干の上振れとなりました。

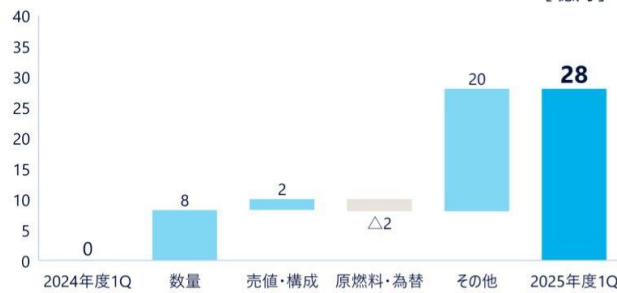
[億円]

	2024年度1Q	2025年度1Q	増減
売上高	172	197	25
営業利益	0	28	28

イソプレンケミカル、エラストマー	欧米を中心に需要が堅調に推移し、販売数量が増加。
〈ジェネスタ〉	電気・電子用途の需要回復が力強く、また自動車用途での拡販も進み、販売数量が増加。

【営業利益増減分析】

[億円]



主な増減要因	タイ拠点の稼働安定及び当該拠点を活用した拡販による寄与があり、増益。
--------	------------------------------------

次にイソプレンセグメントです。当セグメントは、前年対比で増収・増益となりました。各事業の販売の状況は、記載のコメントをご覧ください。

「数量」は、タイ拠点の稼働安定及びこの拠点を活用した拡販により販売数量が増え、8 億円の増益要因となりました。また、在庫評価差額のプラス影響などにより、「その他」は 20 億円の増益要因となりました。以上のことから、セグメント全体の営業利益は 28 億円の増益となりました。

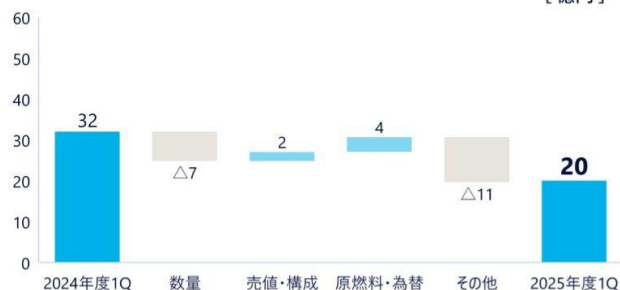
[億円]

	2024年度1Q	2025年度1Q	増減
売上高	487	476	△11
営業利益	32	20	△12

メタアクリル	一時的な生産トラブルにより販売数量が落ち込んだものの、交易条件は改善。
メディカル	審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しており、今後の拡販に向けてマーケティングを強化。
環境ソリューション	欧州では産業用活性炭の需要低調が継続。北米では需要は底堅く推移したものの、寒波や生産トラブルが影響。

【営業利益増減分析】

[億円]



主な増減要因	米国寒波や生産トラブルの影響等があり、セグメント全体では減益。
--------	---------------------------------

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

7

機能材料セグメントは、前年対比で減収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

「数量」は、米国寒波や生産トラブルの影響等により、7億円の減益要因となりました。「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響や経費の増加などにより、11億円の減益要因となりました。

活性炭事業について、米国寒波や生産トラブルの影響等があり、セグメント全体の営業利益は12億円の減益となりましたが、北米における活性炭の需要は底堅く推移しており、今後の挽回に努めてまいります。

[億円]

	2024年度1Q	2025年度1Q	増減
売上高	138	134	△4
営業利益	△2	△6	△4

〈クラリーノ〉

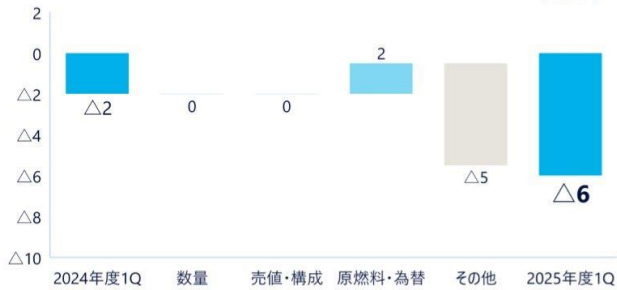
欧州市場での需要低迷や中国経済の成長鈍化、EV市場の在庫調整の影響等により、ラグジュアリー用途及び自動車用途の需要が落ち込み、販売数量が減少。

繊維資材

欧州の建材用途などが引き続き低調に推移。また、在庫評価差額によりマイナス影響。

【営業利益増減分析】

[億円]



主な増減要因

欧州経済の低迷や自動車生産台数減少の影響等を受け、減益。

繊維セグメントは、前年同期比で減収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響により、5 億円の減益要因となりました。欧州経済の低迷や自動車生産台数減少の影響等を受け、セグメント全体の営業利益は 4 億円の減益となりました。

[億円]

	2025年3月末	2024年12月末	増減
流動資産	5,651	5,653	△1
固定資産	6,996	7,260	△264
資産合計	12,647	12,912	△265

	2025年3月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	150	158
円／ユーロ（期末）	162	165

このスライドでは、貸借対照表の資産の部を昨年末と比較しております。

流動資産は1億円の減少となりました。これは、定期修理前の在庫積み増しの影響により棚卸資産が181億円増加した一方で、為替が円高に振れたことによるマイナス影響があったためです。また、固定資産は264億円の減少となりました。これは、主に為替が円高になったことによる影響です。

貸借対照表②(負債と純資産の部)

kuraray

[億円]

	2025年3月末	2024年12月末	増減
流動負債	2,055	1,982	73
固定負債	3,022	3,112	△90
負債合計	5,077	5,094	△17
純資産合計	7,570	7,818	△248
負債・純資産合計	12,647	12,912	△265
自己資本比率	58.5%	59.2%	△0.7%

	2025年3月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	150	158
円／ユーロ（期末）	162	165

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

10

このスライドでは、貸借対照表の負債・純資産の部を示しております。

負債は、短期借入金やコマーシャル・ペーパーが増加した一方で、為替が円高に振れたことによるマイナス影響があり、17 億円の減少となりました。純資産は、円高で為替換算調整勘定が 272 億円減少した影響などにより、248 億円の減少となりました。この結果、自己資本比率は 0.7 ポイント減の 58.5%となりました。

2025年度 業績予想

kuraray

■ 期初公表値から変更無し

[億円]

	2025年度予想			2024年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,200	4,400	8,600	4,112	4,157	8,269	88	243	331
営業利益	380	520	900	455	396	851	△75	124	49
経常利益	360	490	850	440	375	815	△80	115	35
親会社株主に 帰属する当期純利益	220	230	450	304	13	317	△84	217	133
<参考>									
円／ドル（平均）	145			152			152		
円／ユーロ（平均）	160			165			164		
国産ナフサ千円／kl	70			75			75		

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

11

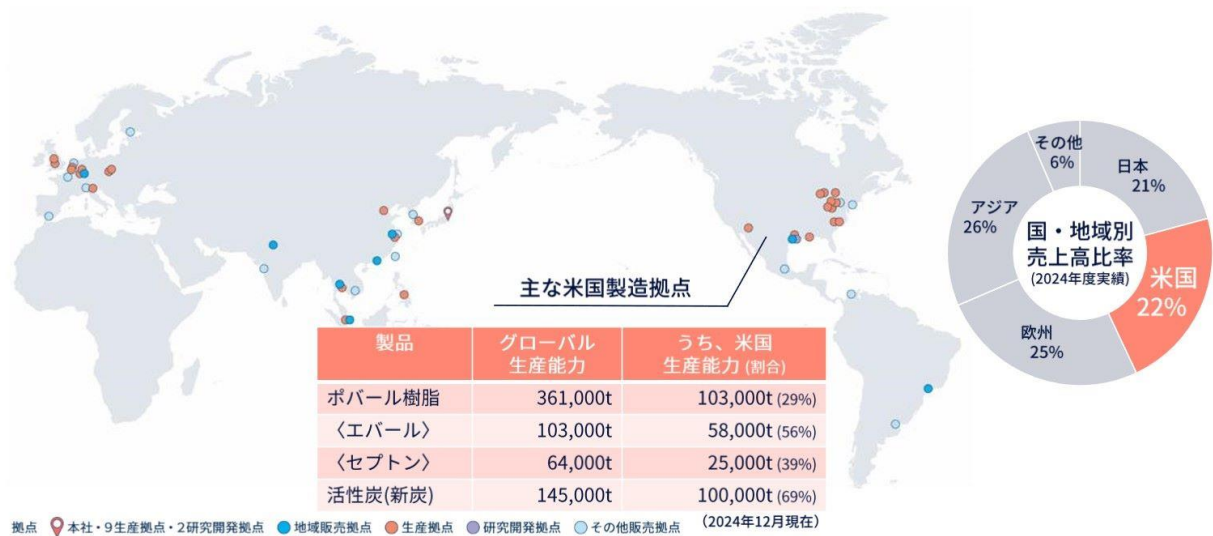
上期の業績予想については、足元の業績及び事業環境を踏まえて精査した結果、期初の公表値から変更はありません。通期業績予想については現時点では見直しをしておらず、第2四半期以降の状況により、修正の必要がある場合は速やかに公表します。

米国の関税政策については、影響を定量的に予想することは困難であり、業績予想には織り込んでいません。

米国関税政策による当社への影響について

kuraray

■ グローバルに分散された製造拠点を活用し、関税による影響を最小化する



© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

12

米国トランプ政権が掲げている関税政策による世界経済への影響は、一般的には経済成長率の鈍化、物価上昇、これらを通じた景気悪化などの懸念があると思いますが、その影響は広範に渡り定量化した予想は難しいと考えています。

一方で、当社の事業については、ビニルアセテートセグメントを中心にグローバルに製造拠点を持っており、適地生産が可能な体制となっています。日本、米国、欧州、アジアの拠点を活用し各国の市場に製品を供給することで、関税影響の最小化に努めていきます。スライドでは、世界地図上に、当社の製造拠点を赤色で示しています。また、スライド右側に、国・地域別の売上高比率を円グラフで示しています。これらのことから分かる通り、当社の製造拠点及び売上高は日本、米国、欧州、アジアに広く分散しており、それぞれの国・地域において適地生産・適地販売を行っています。米国の売上高は約2割であり、その多くは米国内で生産、販売されたものとなります。主力製品である〈エパール〉や活性炭に加え、表中にはありませんが、高機能中間膜や水溶性ポパールフィルムも米国に主要な製造拠点を有しています。

米国の関税政策、世界経済の先行きあるいは今後の当社への影響を現時点で定量的に予想することは困難ですが、引き続き状況を注視しながらも、このスライドで示すようなグローバルに分散された生産・供給体制を生かした事業運営に努めてまいりたいと考えています。

2025年度 株主還元

kuraray

- 上限300億円の自己株式取得を決定
- 資本政策に沿った財務運営を進め、早期のROE 10%達成を目指す

	配当金 1株当たり配当金の維持・増額	自己株式の取得 継続的实施を目指す	総還元性向 50%以上
24年	中間 27円 期末 27円 年間 54円	200億円	118.7%
25年 (予定)	中間 27円 期末 27円 年間 54円	300億円※	約104%

※ 取得し得る株式の総数：2,200万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 6.79%)
株式取得価額の総額：300億円(上限)
株式の取得期間：2025年5月15日～2025年12月15日まで実施

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

13

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置付け、「親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向 50%以上、1株当たり配当金の維持・増額、自己株式取得の継続的实施を目指す」を株主還元方針としています。

この方針に基づき、「300億円、2,200万株」を上限とした自己株式の取得を本日決定、公表しました。今回取得する自己株式についてはその全株の消却を予定しており、消却株数及び消却時期については、決まり次第改めてお知らせいたします。

25年度は、中間・期末それぞれ1株当たり27円の配当を予定しており、それに自己株式の取得を加えますと、総還元性向は約104%となります。

引き続き、資本効率向上と資本コスト低減に向けて、事業ポートフォリオ高度化や資本政策に沿った財務運営を進め、早期のROE 10%達成を目指してまいります。

14ページ目以降は参考資料となります。以上で説明を終わります。ありがとうございました。

【参考】セグメント別 売上高予想

kuraray

[億円]

	2025年度予想			2024年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	2,100	2,180	4,280	2,088	2,061	4,149	12	119	131
イソブレン	410	440	850	375	388	764	35	52	86
機能材料	1,075	1,135	2,210	1,028	1,052	2,080	47	83	130
繊維	310	340	650	312	314	627	△2	26	23
トレーディング	345	355	700	322	354	676	23	1	24
その他	210	220	430	250	259	509	△40	△39	△79
調整額	△250	△270	△520	△264	△271	△535	14	1	15
合計	4,200	4,400	8,600	4,112	4,157	8,269	88	243	331

【参考】セグメント別 営業利益予想

kuraray

[億円]

	2025年度予想			2024年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	340	470	810	439	437	876	△99	33	△66
イソブレン	△25	△20	△45	△40	△55	△95	15	35	50
機能材料	90	100	190	65	65	129	25	35	61
繊維	5	15	20	7	5	12	△2	10	8
トレーディング	32	33	65	27	32	59	5	1	6
その他	8	12	20	9	14	23	△1	△2	△3
調整額	△70	△90	△160	△52	△102	△154	△18	12	△6
合計	380	520	900	455	396	851	△75	124	49

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

kuraray

[億円]

	2024年度					2025年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q(予想)	上期(予想)
ビニルアセテート	990	1,098	1,067	994	4,149	1,004	1,096	2,100
イソプレン	172	204	185	203	764	197	213	410
機能材料	487	540	496	557	2,080	476	599	1,075
繊維	138	174	150	165	627	134	176	310
トレーディング*	153	169	160	194	676	167	178	345
その他	117	133	121	138	509	111	99	210
調整額	△136	△128	△142	△129	△535	△141	△109	△250
合計	1,922	2,190	2,036	2,121	8,269	1,948	2,252	4,200

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

kuraray

[億円]

	2024年度					2025年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q(予想)	上期(予想)
ビニルアセテート	248	191	267	170	876	159	181	340
イソブレン	0	△40	△15	△39	△95	28	△53	△25
機能材料	32	32	28	36	129	20	70	90
繊維	△2	10	15	△10	12	△6	11	5
トレーディング	13	14	14	18	59	14	18	32
その他	4	5	10	4	23	1	7	8
調整額	△8	△45	△33	△68	△154	△30	△40	△70
合計	288	167	285	112	851	187	193	380